

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>教職員の協働性と特別支援教育の実践力を高め、全ての児童が楽しい学校生活を送れるようにします。業務の見直しを図り、働きやすい職場を目指します。保護者、地域から信頼される学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさやわかる喜びを実感し、主体的、対話的で深い学びが日々実践できるように、研究や研修を充実させます。 ・特別支援教育の視点と組織で対応する児童指導体制を構築し、児童一人ひとりが安心して学校生活を送れるようにします。 ・保護者、地域、関係機関と連携を積極的に図り、協働して子どもを育てる風土を築きます。 ・既存に囚われず業務の見直し、効率化・ペーパーレス化を図り、働きやすい、働きがいのある職場を目指します。 	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		<p>【一人ひとりが居場所をもって生活できる学校をつくります】</p> <p>① 道徳の時間に児童の自尊感情を高めるとともに、特別活動を中心に児童が主体となる学年、学級づくりを推し進める。</p> <p>② 幼保との連携や異学年交流の推進に努める。</p>
担当	道徳部・児童指導部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

どの学年も家庭での基本的な生活習慣はおおむね身につけている。また、保護者の教育に対する関心も高い。優しく思いやりのある児童が多い。明るく人とかかわることが好きだと感じている児童もいるが、自分から挨拶をしたり相手に思うを伝えたりすることを苦手と感じるなど、相手意識をもって周りとかかわることを苦手とする児童もいる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実

- 全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。
 - ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳科の授業との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行います。
 - ・授業参観等で全学級の道徳授業公開を年一回以上実施します。
 - ・懇談会などで、道徳教育や道徳科の授業について話題にし、家庭と連携を図って指導にあたります。
 - ・子どもアンケートから子どもの実態把握を行い、道徳の時間に生かします。

指針2 豊かな人権感覚・意識の育成

- 特別活動の充実
 - ・望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や学校行事を築いていこうとする自主的・実践的態度を育み、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を伸ばしていきます。
- 幼保との連携・異学年交流の推進
 - ・年長児との交流活動を通して、児童の成長、自尊心の高まりを目指すとともに、入学児童の様子を多くの職員で見取り、迎えることでなだらかな接続をめざします。